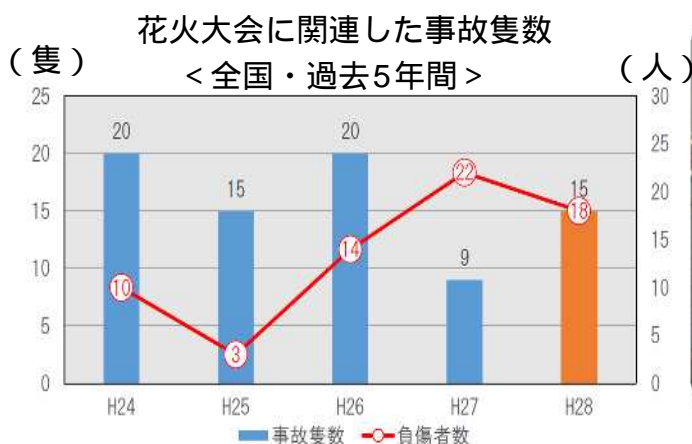




花火大会時の事故

各地で花火大会が開催されますが、例年、花火大会観覧船舶の衝突・乗揚事故が発生しています。

船舶により花火大会を観覧する際は、事故に十分注意して下さい。



<参考> 花火大会を観覧する多数の船舶

「見張り不十分」による「衝突・乗揚」
観覧終了後**「帰港中」**の事故が多数を占めています

「花火大会時」の重点注意事項

- **出港前に...**
事前に航行経路の浅所、障害物、防波堤、航路標識の場所などを確認しておきましょう。また、発航前点検を確実に実施しましょう。
- **観覧時は...**
周囲の船舶の動静に注意し、常に**「自船の位置確認」**を実施しましょう。気付かずに流されて他船に衝突したり、絡索する危険があります。当たり前ですが、**操船者の飲酒は厳禁**です！
- **終了後は...**
観覧していた多くの船舶が一斉に帰港します。
「安全な速力」と「厳重な見張り」を徹底しましょう。

夜間の航行は、昼間と比べ**危険性**が増します。
楽しい花火大会、いつも以上に注意を！



【花火大会に関連する船舶事故事例の紹介】

事故事例 1（平成 26 年 7 月発生）

花火大会観覧後、定係地へ向け航行を開始した直後、港内の水堤に衝突し、操船していた船長が海中転落、乗船者7名のうち3名が負傷しました。

船体は、船首水線に亀裂を伴う損傷を生じました。



事故事例 2（平成 27 年 8 月発生）

花火大会観覧後、港内で夜景を観覧した後、定係地へ戻る途中、建設工事区域内の護岸に衝突し、乗船者2名が負傷しました。（いずれも打撲等の軽症）

この衝突事故により船体に破口が生じて浸水し、沈没しました。



事故事例 3（平成 28 年 7 月発生）

花火大会観覧後の帰港中、漫然と前方を見ていたことにより、防波堤に衝突し、乗船していた7名全員が負傷しました。

- ・胸椎破裂骨折で全治不明
- ・頭部挫傷で全治1ヶ月
- ・右下顎挫傷(15針)で全治2週間 など



(この写真は左記事例とは直接関係ありません)

花火大会で様々な事故が発生しています

多くの小型船舶が密集することから、アンカーロープに推進器が絡まって航行不能となったり、夜間航海中の衝突事故や乗揚事故の危険性が高まります。

【飲酒操船絶対禁止】

